

「第2次高松市創造都市推進ビジョン」策定後の取組状況について

【こどもプロジェクト】恵まれた地域資源の中で想像力を育む

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R1決算額及び R2予算額	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績上昇率 (前年度/前々年度)	令和2年度事業内容	令和3年度事業見込	今後の方向性 (拡充、継続、改善 継続、縮小、統合、 完了、休止、廃止)	主管課 (関係部署)
1	芸術士派遣事業	<p>芸術士が本市内の公私立の保育所・こども園と、公立幼稚園を分担し、日々の保育及び教育の中で保育士等と連携しながら、子どもたちと造形活動や身体表現等、様々な表現活動をしています。</p> <p>芸術士は、子どもたちの無限の可能性を信じ、子どもたちの感性と創造力を最大限に引き出す手助けをし、子どもたちと社会をつなぐ架け橋として子どもたちの創造力の育成に努めています。</p>	4	決算額：37,692千円 予算額：34,877千円	派遣箇所数	平成25年度 27か所 平成26年度 35か所 平成27年度 40か所 平成28年度 40か所 平成29年度 40か所 平成30年度 43か所 令和元年度 43か所 令和2年度 43か所	100.0%	平成21年から実施してる事業であるが、今後も、芸術士を保育所等へ派遣を行い、それぞれの芸術分野を生かしながら、子どもが持っている感性や創造力を伸ばしていけるよう導くとともに、指導方法の共有化や人材の確保に努める。	平成21年から実施してる事業であるが、今後も、芸術士を保育所等へ派遣を行い、それぞれの芸術分野を生かしながら、子どもが持っている感性や創造力を伸ばしていけるよう導くとともに、指導方法の共有化や人材の確保に努める。	改善継続	こども園運営課
2	0才からのコンサート	<p>0歳から3歳くらいまでの子どもとその保護者（妊婦を含む）を対象に、親子で一緒に楽しめるクラシック・コンサートの鑑賞の機会を提供し、乳幼児をもつ保護者へのひとときの安らげる時間を提供するほか、乳幼児には幼い頃から音楽に触れる機会を提供し、音楽文化の創造に関心を深めることを目的に実施します。</p>	4,17	決算額：929千円 予算額：1,000千円	観客数	平成25年度 実績なし 平成26年度 463人 平成27年度 602人 平成28年度 559人 平成29年度 641人 平成30年度 361人 令和元年度 299人	82.8%	来場者同士の距離を確保しやすい高松国分寺ホールを中心に会場を選定し、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、引き続きコンサートの開催を継続する。	引き続き、市民の人気が高い本事業の開催を継続し、より多くの市民が音楽に触れる機会を提供する。	継続	文化芸術振興課
3	ものづくりふれあい教室事業	<p>小・中学生を対象に、ものづくりにチャレンジしながら、文化の創造に関心を深め、ものづくりの大切さを体験する機会を提供します。</p> <p>今後は、工芸の視点も取り入れ、子どもたちに日本の伝統文化の魅力も伝えていきます。</p>	4,17	決算額：480千円 予算額：480千円	参加数	平成25年度 829人 平成26年度 861人 平成27年度 1,223人 平成28年度 1,025人 平成29年度 651人 平成30年度 760人 令和元年度 693人	91.2%	新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、引き続き事業を継続し、情操教育の一環として役立てる。	引き続き事業を継続し、情操教育の一環として役立てる。	継続	文化芸術振興課
4	学校巡回芸術教室・能楽教室事業	<p>小・中学生の情操教育の一助とし、健全育成に資するため、学校巡回形式で、生の優良な芸術や古典芸能を鑑賞し、体験する機会を提供します。</p> <p>今後は、能楽、歌舞伎等の伝統芸能を身近に鑑賞、体験できる機会の提供（ホール公演、薪能等）についても検討していきます。</p>	4,17	決算額：4,745千円 予算額：4,700千円	【学校巡回芸術教室】 参加者数	平成25年度 8,360人 平成26年度 7,097人 平成27年度 12,283人 平成28年度 9,876人 平成29年度 7,983人 平成30年度 9,147人 令和元年度 10,044人	109.8%	新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、引き続き事業を継続し、情操教育の一環として役立てる。	引き続き事業を継続し、情操教育の一環として役立てる。	継続	文化芸術振興課
		<p>小・中学生の情操教育の一助とし、健全育成に資するため、学校巡回形式で、生の優良な芸術や古典芸能を鑑賞し、体験する機会を提供します。</p> <p>今後は、能楽、歌舞伎等の伝統芸能を身近に鑑賞、体験できる機会の提供（ホール公演、薪能等）についても検討していきます。</p>	4,17	決算額：1,675千円 予算額：1,677千円	【能楽教室事業】 参加者数	平成25年度 2,172人 平成26年度 2,965人 平成27年度 1,555人 平成28年度 3,617人 平成29年度 3,243人 平成30年度 2,650人 令和元年度 2,466人	93.1%	新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、引き続き事業を継続し、情操教育の一環として役立てる。	引き続き事業を継続し、情操教育の一環として役立てる。	継続	文化芸術振興課

「第2次高松市創造都市推進ビジョン」策定後の取組状況について

【こどもプロジェクト】恵まれた地域資源の中で想像力を育む

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R1決算額及びR2予算額	実施実績(指標)	実施実績(数値)	実施実績上昇率(前年度/前々年度)	令和2年度事業内容	令和3年度事業見込	今後の方向性(拡充、継続、改善継続、縮小、統合、完了、休止、廃止)	主管課(関係部署)
5	地域密着型トップスポーツチームの活用	<p>カマタマーレ讃岐等、4つの地域密着型トップスポーツチームを活用し、学校訪問や試合への無料招待等、子どもたちに直接選手等と交流できる機会を提供することで、子どもたちの向上心や創造力の育成を図ります。</p> <p>平成29年度からは、香川ファイブアローズの選手が施設（市内幼稚園・保育園、小・中学校など）を訪問し、交流を深めることで、広く市民にチームをPRし、ファン層の拡大や青少年の健全育成等を図ることを目的として、新たに「ホームタウン推進事業」を実施しています。さらに、30年度からは、カマタマーレ讃岐を本事業の対象とするなど、今後も、香川県やトップスポーツチームと連携を図りながら、様々な機会を通じ、より多くの子どもたちにトップスポーツチームの選手等と交流できる機会を提供していきます。</p>	3,4,17	<p>決算額：14,487千円 予算額：14,597千円</p>	教室等開催回数	<p>平成25年度 15回 平成26年度 11回 平成27年度 10回 平成28年度 7回 平成29年度 65回 平成30年度 109回 令和元年度 79回</p>	72.5%	<p>地域密着型トップスポーツチームを活用し、引き続き、市内幼稚園・小中学校等への訪問や高松市民応援デー等における試合への無料招待などを実施していく。また、練習・教室使用料補助事業を通じ、地域密着型トップスポーツチームが市内におけるスクール事業の拡大に向けて取り組むなど、今後においても、子どもたちの向上心や創造力の育成を図っていくため、県や地域密着型トップスポーツチームと連携を図りながら、様々な手段を通じ、一人でも多くの子どもたちに選手等と触れ合え、夢を実現する機会を提供していく。</p>	<p>地域密着型トップスポーツチームを活用し、引き続き、市内幼稚園・小中学校等への訪問や高松市民応援デー等における試合への無料招待などを実施していく。また、練習・教室使用料補助事業を通じ、地域密着型トップスポーツチームが市内におけるスクール事業の拡大に向けて取り組むなど、今後においても、子どもたちの向上心や創造力の育成を図っていくため、県や地域密着型トップスポーツチームと連携を図りながら、様々な手段を通じ、一人でも多くの子どもたちに選手等と触れ合え、夢を実現する機会を提供していく。</p>	継続	スポーツ振興課
6	高松市美術館こどもアートスペース	<p>平成28年3月のリニューアルに合わせて、高松市美術館内に「こどもアートスペース」を開設しました。“ふらっとアート”では気軽に制作を楽しめるプログラムをシーズン毎に企画提供し、未就学児を始め様々な世代等に親しまれる教育普及プログラムを展開します。</p>	4	<p>決算額：205千円 予算額：206千円</p>	こどもアートスペース利用者数	<p>平成28年度 1,776人 平成29年度 1,303人 平成30年度 1,765人 令和元年度 3,417人</p>	193.6%	<p>「こどもアートスペース」を活用し、未就学児を始め様々な世代に親しまれる教育普及プログラムを展開していく。特に“ふらっとアート”では気軽に制作を楽しめるプログラムをシーズン毎に企画提供し、幅広い世代に楽しんでいただく予定。また、子ども向け的美術図書や絵本を自由に閲覧していただく。なお、新型コロナウイルス感染症の影響で、3月5日から5月31日まで臨時休室となったが、その後は感染対策をしながら開室している。</p>	<p>「こどもアートスペース」を活用し、未就学児を始め様々な世代に親しまれる教育普及プログラムを展開していく。特に“ふらっとアート”では気軽に制作を楽しめるプログラムをシーズン毎に企画提供し、幅広い世代に楽しんでいただく予定。また、子ども向け的美術図書や絵本を自由に閲覧していただく。</p>	継続	美術館美術課
7	こども未来館わくわく体験事業	<p>子どもを中心とした幅広い世代の人々の交流、子育てに係る支援並びに学習及び体験活動の場を提供することにより、子どもの夢や想像力を育むとともに、健やかな成長に資するため、遊びや科学、アートなどの体験活動を提供するイベントプログラムや親子で参加できる体験イベントなどの様々な魅力ある事業の提供に努めています。</p>	3、4、10、17	<p>決算額：2,178千円 予算額：2,475千円</p>	<p>開館記念事業としての実績： 企画事業入館者数 平成29年度～： こども未来館わくわく体験事業参加者数</p>	<p>平成28年度 6,694人 平成29年度 4,833人 平成30年度 5,550人 令和元年度 4,367人</p>	78.7%	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、不特定多数が参加する公募プログラム等は実施せず、代わりに職員等による展示のイベントを実施した。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、子どもの夢や想像力を育み、健やかな成長に資するような体験イベントなどを実施する。</p>	継続	こども未来館

「第2次高松市創造都市推進ビジョン」策定後の取組状況について

【こどもプロジェクト】恵まれた地域資源の中で想像力を育む

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R1決算額及びR2予算額	実施実績(指標)	実施実績(数値)	実施実績上昇率(前年度/前々年度)	令和2年度事業内容	令和3年度事業見込	今後の方向性(拡充、継続、改善、縮小、統合、完了、休止、廃止)	主管課(関係部署)
8	子ども・子育て支援事業	みんなのひろばとプレイルームを子どもと保護者の居場所として提供するとともに、子ども・子育ての相談に対応し、子どもと親がともに育ち合う子育て支援機能とふれあい・交流による多世代交流機能を果たすことを目的として実施します。	3、4、10、17	決算額：19,981千円 予算額：23,031千円	みんなのひろば・プレイルーム利用者数	平成28年度 35,082人 平成29年度 76,597人 平成30年度 80,443人 令和元年度 73,871人	91.8%	新型コロナウイルス感染症の影響でみんなのひろば・プレイルームを3月5日から閉鎖した。6月3日から定員やタイムスケジュールを変更して再開したが、今後も状況に応じての対応となる。なお、閉鎖中も楽しんでもらえるよう動画配信を行った。	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、子どもと保護者のふれあいの場となるよう居場所提供事業を行う。	継続	こども未来館
9	こども未来館学習体験事業	市内の小学校4年生（ただし、学校の状況により5年生以上、学校の希望により、中学校の生徒を対象に実施できる。加えて、連携中枢都市圏の小・中学校も受入れ可能。）を対象として、こども未来館の施設を利用した体験的な学習活動を通して、子どもたちの想像力と探究心を育むことで、健やかな成長に資することを目的に実施します。	3、4、10、17	決算額：32,013千円 予算額：36,483千円	こども未来館学習実施学校数/延べ人数	平成28年度 21校/1,737人 平成29年度 54校/4,558人 平成30年度 61校/4,821人 令和元年度 61校/4,861人	学校数：100.0% 延べ人数：100.8%	新型コロナウイルス感染症の影響で、希望する中枢連携都市圏内の小学校と高松第一小学校のみ、こども未来館で実施し、市内小中学校の希望校には、職員が学校に訪問して「出張!こども未来館学習」を実施した。	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、こども未来館学習を実施した学校からの意見を踏まえて、学習の課題等を検討し、学習内容の充実を図りながら実施する。	継続	こども未来館
10	夢みらい図書館	子ども向けの本を充実させるとともに、おはなし会や読み聞かせ、多様なイベント等を開催するなど、子どもに重点を置いた、子どもも大人も楽しく本に親しむことができる場を提供しています。	4	決算額：3千円 予算額：6千円	子ども対象イベント参加者数	平成28年度 496人 平成29年度 2,555人 平成30年度 2,684人 令和元年度 2,207人	82.2%	新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年2月下旬からおはなし会の開催が見送られているが、子ども向けの図書を、より一層充実させるとともに、年齢別（0～12歳）「おすすめの本コーナー」を新たに設置し、より利用しやすくする。また、適正な感染防止策を講じた上で、こども未来館ほか関係課とも連携を図りながら、読書に親しめるようおはなし会や多様なイベントを開催し、子どもの読書活動の推進に取り組む。	令和2年度に設置し貸出件数の多かった、年齢別「おすすめの本コーナー」を含め子ども向けの図書を更に充実させるとともに、新型コロナウイルス感染症を講じた上で、読書に親しめるようおはなし会等行事を実施する。	継続	中央図書館
11	劇団四季ミュージカル「こころの劇場」	高松市において実施される劇団四季「こころの劇場」ミュージカル公演について、本市並びに瀬戸・高松広域連携中枢都市圏域内の児童（小学6年生）を招待します。	4,17	決算額：1,072千円 予算額：1,155千円	鑑賞者数	【観客数/回数】 平成25年度 4,985人/1公演6回 平成26年度 5,323人/1公演6回 平成27年度 5,362人/1公演6回 平成28年度 5,303人/1公演5回 平成29年度 4,997人/1公演5回 平成30年度 5,144人/1公演5回 令和元年度 5,211人/1公演5回 令和2年度 中止	—	引き続き、舞台劇の鑑賞をとおして、児童の情操を涵養することを目的に事業を継続実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、多数の児童が安心して観劇する環境の整備が困難であり、劇団四季の経営状況が悪化していることから、令和3年度の実施を見送ることが決定している。	休止	文化芸術振興課

「第2次高松市創造都市推進ビジョン」策定後の取組状況について

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R1決算額及びR2予算額	実施実績(指標)	実施実績(数値)	実施実績上昇率(前年度/前々年度)	令和2年度事業内容	令和3年度事業見込	今後の方向性(拡充、継続、改善継続、縮小、統合、完了、休止、廃止)	主管課(関係部署)
1	伝統的ものづくり学校巡回教室	市内小・中学校へ伝統工芸の職人を派遣し、ワークショップ等を開催することで、高松の歴史を伴う伝統工芸に関する理解や関心を深めるとともに、情操教育の一助に寄与します。	4,8,9,12,17	決算額：652千円 予算額：675千円	参加者数/回数	平成26年度 404人/14回 平成27年度 360人/14回 平成28年度 280人/6回 平成29年度 138人/4回 平成30年度 299人/3回 令和元年度 268人/3回	参加者数：89.6% 回数：100.0%	伝統的ものづくりの職人を希望のあった小・中学校へ派遣し、話を聞いたり、作品や作業風景を見たりする場を設ける。次代を担う子どもたちの自分自身の住んでいるまちに対する「誇り」や「愛着心」を醸成させることができるような事業となるよう、継続して実施した。新型コロナウイルスの感染拡大により、日程変更が一部あったが、講師と児童生徒間の距離を取る等の感染防止策を取り実施している。	伝統的ものづくりの職人を希望のあった小・中学校へ派遣し、話を聞いたり、作品や作業風景を見たりする場を設ける。次代を担う子どもたちの自分自身の住んでいるまちに対する「誇り」や「愛着心」を醸成させることができるような事業となるよう、継続して実施する。	継続	産業振興課
2	伝統的ものづくり親子体験教室	夏休み期間中に小学生親子を対象として、伝統工芸品の制作体験を実施し、地域資源である伝統工芸について理解と関心を深めます。	4,8,9,12,17	決算額：84千円 予算額：84千円	参加者数/回数	平成26年度 111人/4回 平成27年度 242人/10回 平成28年度 294人/10回 平成29年度 230人/8回 平成30年度 300人/12回 令和元年度 326人/12回 令和2年度 161人/12回	参加者数：49.4% 回数：100.0%	親子で地域の歴史と合わせて発達した伝統的ものづくりを学び体験することで、地域の資源としての文化やものづくりについての理解と関心を深めるとともに、内外へ発信出来る人を増加させることが出来るよう、継続して実施した。新型コロナウイルスの感染拡大に対応するため、1日1講座開催とし、一部講座では定員を減らすなどの対応を行った。外出自粛や夏休み短縮の影響のためか、応募者数は減少した。	親子で地域の歴史と合わせて発達した伝統的ものづくりを学び体験することで、地域の資源としての文化やものづくりについての理解と関心を深めるとともに、内外へ発信出来る人を増加させることが出来るよう、継続して実施する。	継続	産業振興課
3	たかまつ工芸ウィーク	本市の誇る工芸品の展示や販売、工芸を体感する産地ツアーやワークショップなどを市内の店舗や施設で開催する。	4,8,9,12,17	決算額：1,247千円 予算額：1,200千円	参加施設、店舗、イベント数	令和元年度 42か所・イベント 令和2年度 41か所・イベント	97.6%	令和2年度も、関係団体等と実行委員会を立ち上げ、市内の店舗や施設同士が繋がりがあ、工芸に特化した期間をつくと共に、工芸に携わる事業者・施設を案内するマップを作成配布することで、高松を工芸の発信地として広く内外にPRした。新型コロナウイルスの感染拡大に対応するため、実行委員会主催の集客型イベントは開催せず、各店舗・施設を巡るスタンプラリーやフォトコンテストを開催した。	令和3年度も、関係団体等と実行委員会を立ち上げ、市内の店舗や施設同士が繋がりがあ、工芸に特化した期間をつくることで、高松を工芸の発信地として広く内外にPRする。	継続	産業振興課
4	高松盆栽振興事業	平成28年度から高松盆栽の普及及び生産拡大の推進を図るために各種事業を実施します。 ○高松盆栽PR事業 盆栽大会への出展など、高松盆栽のPRを実施 ○盆栽産地振興事業 盆栽産地の振興を図るため、産地の活動を支援 ○盆栽輸出振興事業 盆栽の輸出の拡大を図るため、海外盆栽バイヤーとの商談会の開催及び輸出体制の整備を支援	8,9,11,15	決算額：3,578千円 予算額：7,938千円	商談会等の実施	【平成28年度】○高松盆栽のPRグッズ等を作成 ○海外盆栽バイヤーとの商談会を実施 【平成29年度】○平成29年4月にさいたま市で開催された世界盆栽大会に出展し、高松盆栽のPRを実施 【平成30年度】商談会の開催 2回(ベルギー、ドイツ) 【令和元年度】2回(バイヤーの出身国：イタリア、ドイツ)	100.0%	高松盆栽の振興を図るため、高松盆栽のPR・輸出振興を支援するとともに、産地の活動の取組みを支援する。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、商談会等は中止となった。	高松盆栽の振興を図るため、高松盆栽のプロモーション・誘客促進に取り組み、盆栽の新たなターゲット層を開拓する。	継続	農林水産課

「第2次高松市創造都市推進ビジョン」策定後の取組状況について

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R1決算額及びR2予算額	実施実績(指標)	実施実績(数値)	実施実績上昇率(前年度/前々年度)	令和2年度事業内容	令和3年度事業見込	今後の方向性(拡充、継続、改善継続、縮小、統合、完了、休止、廃止)	主管課(関係部署)
5	高松盆栽の郷推進事業	<p>平成29年度に策定した「高松盆栽の郷」基本構想に基づき、盆栽産地（鬼無・国分寺地区）の伝統的な盆栽文化の一層の普及・定着による「高松盆栽の郷」の産地そのもののブランド化を図るため、4つの基本方針に基づき香川県と連携しながら総合的な産地振興に取り組んでいきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○国内需要の拡大 新たな需要創出に向けた取組、盆栽の文化や魅力を伝えるための情報発信・PR活動</li> <li>○輸出の拡大 輸出量増加のための取組、輸出基盤の強化や販路拡大への取組、盆栽の文化や魅力を伝えるための情報発信・PR活動</li> <li>○産地基盤の強化 盆栽後継者の育成のための取組、生産・販売の基盤強化のための取組</li> <li>○高松盆栽の郷づくり 「高松盆栽の郷」基本構想に基づくツーリズム等の取組、「高松盆栽の郷」の核となる拠点施設の整備</li> </ul>	8,9,11,15	<p>決算額：127,093千円 予算額：30,350千円</p>	【平成29年度】 「高松盆栽の郷」基本構想策定			<p>「高松盆栽の郷」基本構想に基づき、①国内需要の拡大、②輸出の拡大、③産地基盤の強化、④高松盆栽の郷づくりを推進するために各種事業を実施する。</p> <p>令和2年4月にオープンした拠点施設「高松盆栽の郷」を核としたPR事業等に対する支援を行い、国内外に高松盆栽の魅力を発信する。</p> <p>また、研修施設である「(株)盆栽の匠」において、国内外の研修生の受入体制を整備し、盆栽の担い手確保・育成を図る。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症の影響で一部の事業については縮小するとともに、秋の新規イベント「高松盆栽の郷」フェスタについては、オンラインでの開催となった。</p>	<p>「高松盆栽の郷」基本構想に基づき、①国内需要の拡大、②輸出の拡大、③産地基盤の強化、④高松盆栽の郷づくりを推進するため、引き続き各種事業を実施する。</p> <p>令和3年度については、拠点施設「高松盆栽の郷」を核としたPR事業等に対する支援や誘客促進事業を行い、国内外に高松盆栽の魅力を情報発信する。</p> <p>また、研修施設である「(株)盆栽の匠」において、国内外の研修生の受入体制を整備し、盆栽の担い手確保・育成を図る。</p>	継続	農林水産課
6	むれ源平石あかりロード	<p>地元庵治石の普及振興を始め、地域の賑わいづくりを目的として始めた事業で、市としては、源平屋島地域活性化事業を通して、後援しています。</p> <p>「庵治石のあかり」を道路沿いに配置して、源平史跡を巡るイベントで、庵治石とデザイン、史跡を融合した産業観光視点のイベントとして開催されており、期間中の毎週土曜日に限定したライブ等の多彩なイベントを始め、企画展示や観覧参加者が審査するコンテストの実施など、毎年、県内外から多数の参加者を集める事業として注目されています。</p>	8	<p>決算額：1,060千円 予算額：1,060千円</p>	来場者数	<p>平成25年度 75,000人 平成26年度 52,000人 平成27年度 75,000人 平成28年度 80,000人 平成29年度 75,000人 平成30年度 60,000人 令和元年度 70,000人 令和2年度 中止</p>	—	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を徹底することが困難であるため、開催を中止する。</p>	<p>地元庵治石の普及振興を始め、地域の賑わいづくりを目的として、「庵治石のあかり」を道路沿いに配置し、源平史跡を巡るイベントの実施を検討しているが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を徹底することができない場合は中止する。</p>	継続	観光交流課

「第2次高松市創造都市推進ビジョン」策定後の取組状況について

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R1決算額及びR2予算額	実施実績(指標)	実施実績(数値)	実施実績上昇率(前年度/前々年度)	令和2年度事業内容	令和3年度事業見込	今後の方向性(拡充、継続、改善継続、縮小、統合、完了、休止、廃止)	主管課(関係部署)
1	人・農地プラン推進事業	地域での話し合いに基づく「人・農地プラン」の作成・実行により、農地集積・集約化や新規就農・経営継承を促し、農業の体質強化を図ります。 また、国の事業等を活用し、新規就農者等の担い手の定着による地域農業の活性化を図ります。	8,9,11,15	決算額：35,562千円 予算額：51,667千円	人・農地プランの作成地区数	平成25年度 30地区 平成26年度 31地区 平成27年度 32地区 平成28年度 32地区 平成29年度 32地区 平成30年度 32地区 令和元年度 32地区	100.0%	地域での話し合いに基づく「人・農地プラン」の作成・実行により、農地集積・集約化や新規就農・経営継承を促し、農業の体質強化を図る。 また、国の事業等（農業次世代人材投資資金等）を活用し、新規就農者等の担い手の定着による地域農業の活性化を図る。	地域での話し合いに基づく「人・農地プラン」の作成・実行により、農地集積・集約化や新規就農・経営継承を促し、農業の体質強化を図る。 また、国の事業等（農業次世代人材投資資金等）を活用し、新規就農者等の担い手の定着による地域農業の活性化を図る。	継続	農林水産課
2	高松ブランド農産物育成支援事業	消費者との地産地消を基本とした共生型農業を推進するため、市内で生産された新鮮で良質な農産物や加工品を「高松産ごじまん品」として市民に提供するとともに、情報発信や農業体験教室、料理教室等の開催を通じて市内農産物の需要拡大と市民の健康で豊かな食生活の実現を図ります。 今後も、食育・地産地消の推進、農産物のブランド化を推進するため、継続して事業を行っていきます。	8,9,11,15	決算額：2,995千円 予算額：2,000千円	高松産ごじまん品関連イベント ・ たかまつ食と農のフェスタ ・ おにぎり教室（保育園・幼稚園を対象） ・ 野菜塾 ・ 料理教室 ・ 農産物のPR（試食・販売等） など	平成25年度 46回 平成26年度 49回 平成27年度 46回 平成28年度 47回 平成29年度 36回 平成30年度 36回 令和元年度 36回	100.0%	JA香川県等と連携し、農産物のPR、地産地消・食育、及び6次産業化・農工商連携の推進を図る。 なお、サンメッセ香川が大規模修繕中のため「たかまつ食と農のフェスタ」は休止する。 また、新型コロナウイルス感染症の影響により、試食・販売等のイベントは中止となった。	JA香川県等と連携し、農産物のPR、地産地消・食育、及び6次産業化・農工商連携の推進を図る。	継続	農林水産課
3	たかまつ市場フェスタ事業	高松市民の台所としての卸売市場の役割や流通の仕組みを広く市民に周知・啓発するとともに、生鮮食料品等の流通の円滑化と消費拡大を図るため、市民と卸売市場との交流の機会を確保しています。	2,12,14	決算額：1,500千円 予算額：2,000千円	来場者数	平成25年度 17,000人 平成26年度 17,500人 平成27年度 18,000人 平成28年度 18,500人 平成29年度 19,000人 平成30年度 20,000人 令和元年度 23,000人	115.0%	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、イベントの開催を見送った。市場を市民に知ってもらう手段の代替として、市場内関係者で組織する「高松市中央卸売市場運営協議会」と協力し、卸売市場の情報発信を行う独自のWEBページを制作した。なお、3月末を目途に、市場関係者が出品するECサイトの公開を予定している。	withコロナの時代におけるイベントの在り方を検討しながら、既存イベントの見直しや新規イベントの企画を行い、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、内容の充実を図りながら実施する。	継続	市場管理課
4	市場特別開放事業	普段は、許可を受けた人しか入場できない卸売市場で、お買い物をしていただくことにより、高松市民の台所としての卸売市場の役割を知っていただくとともに、市民に親しまれ、市民に開かれた市場づくりを推進しています。	2,12,14	決算額：118千円 予算額：159千円	実施回数/来場者数	平成25年度 5回/6,900人 平成26年度 5回/5,800人 平成27年度 5回/5,000人 平成28年度 5回/5,200人 平成29年度 5回/5,100人 平成30年度 5回/5,300人 令和元年度 4回/4,400人	実施回数：80.0% 来場者数：83.0%	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、イベントの開催を見送った。市場を市民に知ってもらう手段の代替として、市場内関係者で組織する「高松市中央卸売市場運営協議会」と協力し、卸売市場の情報発信を行う独自のWEBページを制作した。なお、3月末を目途に、市場関係者が出品するECサイトの公開を予定している。	withコロナの時代におけるイベントの在り方を検討しながら、既存イベントの見直しや新規イベントの企画を行い、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、内容の充実を図りながら実施する。	継続	市場管理課
5	市場DE自由研究事業	小学生及びその保護者を対象に、市場の流通の仕組みや機能を、夏休みにおける自由研究の題材として提供することにより、市場の役割等の知識を深めます。 今後は、市場をより身近に感じていただけるような事業展開とともに、引き続き、市場流通の拡大につながるよう地産地消の題材も取り入れていきます。	2,12,14	決算額：120千円 予算額：120千円	実施回数/参加者数	平成25年度 6回/226人 平成26年度 6回/218人 平成27年度 6回/202人 平成28年度 6回/194人 平成29年度 6回/180人 平成30年度 6回/181人 令和元年度 6回/162人	実施回数：100.0% 参加者数：89.5%	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、イベントの開催を見送った。市場を市民に知ってもらう手段の代替として、市場内関係者で組織する「高松市中央卸売市場運営協議会」と協力し、卸売市場の情報発信を行う独自のWEBページを制作した。	withコロナの時代におけるイベントの在り方を検討しながら、既存イベントの見直しや新規イベントの企画を行い、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、内容の充実を図りながら実施する。	継続	市場管理課

「第2次高松市創造都市推進ビジョン」策定後の取組状況について

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R1決算額及びR2予算額	実施実績(指標)	実施実績(数値)	実施実績上昇率(前年度/前々年度)	令和2年度事業内容	令和3年度事業見込	今後の方向性(拡充、継続、改善継続、縮小、統合、完了、休止、廃止)	主管課(関係部署)
1	2021ジャパンパラ陸上競技大会	令和3年4月24日(土)、25日(日)に屋島レクザムフィールドで大会を開催し、障がい者スポーツの推進に取り組むとともに、子ども達への心のバリアフリー醸成や共生社会の実現に努めます。	3,4,10,17						新型コロナウイルス感染症対策を講じ、大会運営を行うほか、子ども達への心のバリアフリー醸成につながるイベントを企画し、障がい者スポーツの推進に努める。	新規	スポーツ振興課
2	観光客受入環境整備事業	観光客等の満足度向上を図るため、無線LAN等の環境整備や観光案内板を整備して情報提供を行うほか、産学官が連携して外国人観光客の受入環境の整備事業に取り組む。	8,14,15,17	決算額：7,294千円 予算額：10,245千円	市内の主な観光施設等利用者数	平成25年度 6,315千人 平成26年度 6,509千人 平成27年度 6,655千人 平成28年度 6,934千人 平成29年度 6,816千人 平成30年度 6,595千人 令和元年度 6,759千人	102.5%	元年度に本格始動した「高松外国人観光客お助け隊」については、交通の拠点等での声掛け活動に加え、クルーズ船の寄港時や国際的なスポーツ大会等における活動を継続するとともに、活動内容の充実を目指して隊員の増加を図る。 併せて、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として、県内、周辺地域などを国内観光客を対象として、SNSを活用して本市の魅力を発信する投稿記事をコンテンツ形式で競い合わせる「SNSを活用した高松魅力発信キャンペーン」を実施する。	「高松外国人観光客お助け隊」については通訳案内士等を講師に招いてガイド力向上講座を実施するとともに、街頭での声掛け活動を再開し、隊員お勤めの店舗を紹介したウォーキングマップを配布することで、観光客の満足度向上を図る。 併せて、フリーWi-Fiである「かがわWi-Fi高松」を中心市街地に面的に整備し、運用保守を行う。	継続	観光交流課
3	魅力にあふれ、人が輝く創造都市推進事業	若い世代が自ら企画・発案した事業の実施に補助することで、若い世代の柔軟かつ創造的な取組の実現を支援し、本市の創造性を高める。	11,17	決算額：853千円 予算額：1,507千円	「高松市創造都市推進局フェイスブックページ」いいね!の数	平成26年度 2,726 平成27年度 3,555 平成28年度 4,138 平成29年度 4,388 平成30年度 4,585 令和元年度 4,950	108.0%	新型コロナウイルス感染症の影響で会議やイベントの開催が見送られているが、オンライン会議での開催・参加する手法も取り入れながら、創造都市推進審議会や創造都市推進懇談会において、本市の活性化に資する御意見をいただきながら、創造都市ネットワーク日本の事業に参加し、本市の取組について積極的にPRする。	引き続き、オンライン会議での開催・参加する手法も取り入れながら、創造都市推進審議会や創造都市推進懇談会において、本市の活性化に資する御意見をいただきつつ、創造都市ネットワーク日本の事業に参加し、本市の取組について積極的にPRする。	継続	産業振興課
4	専門職短期大学設置支援事業	地域の活性化を担う人材の輩出や、若者の県外流出の抑制等を図るため、高松市公共施設再編整備計画(1次)案において、有識者等の意見を反映した総合評価で「2022年度末までに売却を含めた廃止を検討する」こととされていた高松テルサの跡施設を有効活用し、学校法人穴吹学園が構想する「専門職短期大学」の設置を支援します。	4,8,17	決算額：104,868千円 予算額：0千円	専門職短期大学入学手続完了者数			高松テルサ跡施設について、引き続き、学校法人穴吹学園に貸付する。	高松テルサ跡施設について、引き続き、学校法人穴吹学園に貸付する。	継続	産業振興課
5	創造支援センター運営事業	本市における特色ある事業の創出及び地域産業の振興に寄与するため、四番丁スクエア内に、創造性に富む発想や独自性のある技術を活用した新規事業者等の活動拠点としてのインキュベーター施設(全6部屋)を設置・運営している。	9	決算額：296千円 予算額：353千円				継続して事業を実施する。	継続して事業を実施する。	継続	産業振興課
6	グリーン・ツーリズム推進事業	市内のグリーン・ツーリズムの推進を図るため、グリーン・ツーリズム実践者の活動を支援する。	8,9,11,15	決算額：0千円 予算額：286千円				市内のグリーン・ツーリズムの推進を図るため、グリーン・ツーリズム実践者の活動を支援する。(令和2年度予算は、HPの内容更新費用のみ)	市内のグリーン・ツーリズムの推進を図るため、グリーン・ツーリズム実践者の活動を支援する。	継続	農林水産課
7	ため池景観整備維持管理事業	ため池景観整備事業等で実施した施設、樹木等の維持管理に関する協定を締結した法人または市長が認める団体に対して補助金を交付し、当該施設等の適正な維持管理を図る	6,9,15	決算額：8,495千円 予算額：8,495千円	地区数/補助金	平成25年度 17地区/7,697,300円 平成26年度 17地区/7,819,500円 平成27年度 17地区/8,269,600円 平成28年度 17地区/8,135,800円 平成29年度 16地区/7,940,600円 平成30年度 16地区/8,252,500円 令和元年度 16地区/8,494,600円	地区数：100.0% 補助金：102.9%	引き続き、事業実施に係る支援を行い、当該施設等の適正な維持管理を図る。	引き続き、事業実施に係る支援を行い、当該施設等の適正な維持管理を図る。	継続	土地改良課

「第2次高松市創造都市推進ビジョン」策定後の取組状況について

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R1決算額及びR2予算額	実施実績(指標)	実施実績(数値)	実施実績上昇率(前年度/前々年度)	令和2年度事業内容	令和3年度事業見込	今後の方向性(拡充、継続、改善継続、縮小、統合、完了、休止、廃止)	主管課(関係部署)
8	高松城跡(玉藻公園)をいかした観光振興事業	重要文化財の指定を受けた披雲閣を中心とし、高松城跡(玉藻公園)の観光拠点としての知名度向上及び観光客の増加を図るため、バーチャル高松城の活用や和船体験事業等の事業を行うとともに庭園のライトアップ等、ナイト観光を充実させるイベントを実施。	8,14,15,17	決算額:7,098千円 予算額:6,684千円	入園者数	平成25年度玉藻公園入園者数 178,807人 平成26年度玉藻公園入園者数 194,016人 平成27年度玉藻公園入園者数 218,258人 平成28年度玉藻公園入園者数 237,946人 平成29年度玉藻公園入園者数 228,385人 平成30年度玉藻公園入園者数 202,161人 令和元年度玉藻公園入園者数 229,439人	113.5%	引き続き、高松城鉄砲隊演武、バーチャル高松城、和船体験事業を実施するとともに、宿泊客に高松の夜を楽しんでいただくため、官民連携のナイト観光イベントなどを展開し、観光拠点としての知名度アップと観光客の増加を図っていく。	引き続き、バーチャル高松城や和船体験事業を実施するとともに、MICEがサンポート地区で開催される際に、同園を本市ならではの歴史文化を演出できるユニークな企画として活用し、知名度アップ及び観光客の増加を図っていく。	継続	観光交流課
9	屋島山上拠点施設整備事業	屋島の多様な特性・価値を深く知るための機会を提供し、より多くの人に愛着を持ってもらうため、屋島山上に誰もが気軽に立ち寄り、屋島の歴史、文化、自然環境等について学び、交流することができる拠点施設を整備します。	8	決算額:58,035千円 予算額:1,249,411千円	屋島入込客数	平成26年度 511,577人 平成27年度 504,399人 平成28年度 506,682人 平成29年度 498,696人 平成30年度 494,984人 令和元年度 531,485人	107.4%	屋島山上交流拠点施設指定管理者の公募に向けた検討を進めるとともに、建設工事を着実に進めていく。	屋島山上交流拠点施設の指定管理者の公募を開始するとともに、建設工事を着実に進めていく。	継続	観光交流課
10	屋島活性化推進事業	屋島の活性化に向け、屋島の有する特性・価値を将来にわたり継承しつつ、市民を始め、屋島を訪れる人々に広く知ってもらうため、「屋島活性化基本構想」に基づく事業を実施し、屋島を世界に誇れる本市のシンボルとして再生します。 この事業の一つとして、山上を訪れる人々に屋島を知ってもらうため、人が集まり、学び、楽しみ、交流できる拠点となる屋島山上拠点施設を整備します。 また、屋島ドライブウェイの無料化・市道化により、屋島に気軽に訪れることのできる環境づくりが図られていることから、より一層屋島山上への誘客を推進していきます。 さらに、屋嶋城跡城門遺構を整備するとともに平成28年3月に一般公開を開始し、屋島の歴史の掘りおこしと情報発信を行っています。 平成29年に完成した屋島レクザムフィールドについては、四国大会等の陸上競技大会が開催可能であり、棒高跳の公認競技が可能な室内競技場を全国で初めて併設しています。	8	決算額:120,614千円 予算額:1,358,674千円 (2か年ともに、屋島山上拠点施設整備、屋島山上ライブイベント～天空ミュージック～、むれ源平石あかりロードに係る費用を含む)	屋島入込客数	平成26年度 511,577人 平成27年度 504,399人 平成28年度 506,682人 平成29年度 498,696人 平成30年度 494,984人 令和元年度 531,485人	107.4%	引き続き、源平屋島地域運営協議会において、源平屋島地域のまつり・各種イベントを補助・共同宣伝することにより、源平屋島地域全体の活性化やにぎわいの創出、誘客の促進に努める。また、バス運行事業者による屋島山上シャトルバス運行事業への補助や屋島関係情報ポータルサイトの運営を行い、源平屋島地域への観光客の誘致を図るとともに、屋島周辺の観光施設への周遊を促す取組みを行いながら、屋島に対する関心を広く醸成する。	引き続き、源平屋島地域運営協議会において、源平屋島地域のまつり・各種イベントを補助・共同宣伝することにより、源平屋島地域全体の活性化やにぎわいの創出、誘客の促進に努める。また、バス運行事業者による屋島山上シャトルバス運行事業への補助や屋島関係情報ポータルサイトの運営を行い、源平屋島地域への観光客の誘致を図るとともに、屋島周辺の観光施設への周遊を促す取組みを行いながら、屋島に対する関心を広く醸成する。	継続	観光交流課
11	屋島山上ライブイベント～天空ミュージック～	「食」と「音楽」による屋島山上への誘客を目的とし、「屋島夕夜景フェスタ」の開催期間中のいずれかの金・土曜日に、屋島山上において、著名なミュージシャン等による音楽ライブを実施する。	8	決算額:2,380千円 予算額:2,380千円	来場者数	平成26年度 1,450人 平成27年度 1,110人 平成28年度 1,020人 平成29年度 1,280人 平成30年度 1,100人 令和元年度 1,430人 令和2年度 中止	—	新型コロナウイルス感染症の影響により、来場者の安全の確保拡大防止対策を徹底することが困難であるため、開催を中止する。	「食」と「音楽」による屋島山上への誘客を目的とし、屋島山上において、著名なミュージシャン等による音楽ライブの実施を検討しているが、参加者や来場者の安全性が確保できない場合は中止する。	継続	観光交流課
12	温泉をいかした塩江地域の観光振興事業	観光客のニーズや嗜好、競争環境の変化等に的確に対応し、地域の持つ魅力を向上させて塩江地域の活性化を図るため、塩江温泉郷観光活性化基本構想に基づき、温泉をいかした塩江地域の観光振興に努めます。	11	決算額:20,479千円 予算額(繰越明許):25,516千円	塩江温泉郷観光入込客数	平成25年度 59,392人 平成26年度 64,785人 平成27年度 68,150人 平成28年度 69,039人 平成29年度 70,010人 平成30年度 65,944人 令和元年度 66,726人	101.2%	塩江温泉郷観光活性化基本構想に基づく事業の推進を図るとともに、道の駅エリア整備基本計画の策定等に取り組む。	塩江温泉郷観光活性化基本構想に基づく事業の推進を図るとともに、高松市塩江道の駅エリア整備基本計画に基づき、各設計等業務に取り組む。	継続	観光交流課



「第2次高松市創造都市推進ビジョン」策定後の取組状況について

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R1決算額及びR2予算額	実施実績(指標)	実施実績(数値)	実施実績上昇率(前年度/前々年度)	令和2年度事業内容	令和3年度事業見込	今後の方向性(拡充、継続、改善継続、縮小、統合、完了、休止、廃止)	主管課(関係部署)
13	誘客促進事業	本市への誘客を促進するため、香川県と連携し、高松空港への直行便が就航している台北、上海、ソウル、香港及び成田を対象に観光キャンペーンなどを実施するほか、多言語対応可能な観光案内所の運営や、クルーズ客船の受入事業を行う。 また、広島市、松山市、岡山市及び本市の4市で構成する「瀬戸内4県都市長会」で観光客誘致事業を実施するとともに、(公財)高松観光コンベンション・ビューローを通じて、国内外からの観光客の本市での滞在の促進に取り組む。	8	決算額：176,161千円 予算額：180,724千円	観光案内所利用者数(外国人) / 観光関連施設等利用者数	平成25年度 -人/6,315千人 平成26年度 -人/6,509千人 平成27年度 -人/6,655千人 平成28年度 18,597人/6,934千人 平成29年度 18,313人/6,816千人 平成30年度 23,164人/6,595千人 令和元年度 22,566人/6,570千人	観光案内所利用者数(外国人)：97.4% 観光関連施設等利用者数：99.6%	県と連携し、新型コロナウイルス感染症の収束状況を鑑みながら、連休中のソウル、上海、台湾、香港の東アジア4路線、国内線(成田線)の路線維持を図る。また、外国人観光客の利便性向上のため、常時多言語対応可能な観光案内所の運営を行うほか、クルーズ客船等の受入事業を行う。 瀬戸内4県都市長会では、欧州をターゲットとした体験プログラムの造成、販売等が出来るサイトの構築を行う。 (公財)高松観光コンベンション・ビューローを通じて、国内外からの観光客の本市での滞在の促進に取り組む。	県と連携し、新型コロナウイルス感染症の影響で休止している東アジア4路線、国内線(成田線)の路線維持を図る。また、外国人観光客の利便性向上のため、常時多言語対応可能な観光案内所の運営を行うほか、クルーズ客船等の受入事業を行う。 瀬戸内4県都市長会では、国内をターゲットとしたVR映像の制作及びPRイベントを行う。 (公財)高松観光コンベンション・ビューローを通じて、主に国内からの観光客の本市での滞在の促進に取り組む。	継続	観光交流課
14	さぬき高松まつり	四国の四大祭りの一つとして、また、讃岐路の真夏の夜を彩る祭典として、市民をはじめ多くの観光客にも親しまれており、「ものっそ高松」を合言葉に、「瀬戸の都・高松」にふさわしい大イベントとして、中央公園・中央通り・サンポート高松をメイン会場に、盛大に開催する。	8	決算額：45,831千円 予算額：44,667千円	入込客数	平成25年度 650,000人 平成26年度 620,000人 平成27年度 650,000人 平成28年度 620,000人 平成29年度 610,000人 平成30年度 580,000人 令和元年度 210,000人 令和2年度 中止	—	新型コロナウイルス感染症の影響が大きくなり、収束の見通しが立たないこと、参加者や来場者の安全性が確保できないため、さぬき高松まつりの全日程を中止する。	新型コロナウイルスの感染防止に向けた国のガイドラインの留意事項を踏まえ、第55回のさぬき高松まつり記念大会として花火大会及び総おどりの実施を検討しているが、GW期間までに、参加者や来場者の安全性が確保できない場合は中止する。	継続	観光交流課
15	高松秋のまつり・仏生山大名行列	高松の四季を表すまつりの一つとして、市民をはじめ、多くの観光客にも親しまれるまつりを目指すとともに、中心会場となる高松南部地域の活性化に寄与する。	8	決算額：9,754千円 予算額：9,071千円	入込客数	平成25年度 130,000人 平成26年度 150,000人 平成27年度 145,000人 平成28年度 145,000人 平成29年度 117,000人 平成30年度 155,000人 令和元年度 160,000人 令和2年度 中止	—	高松市立仏生山公園や仏生山商店街を会場に、大名行列のほか、野外劇場やよろず処、黒門市等さまざまな催しを検討していたが、参加者や来場者の安全性が確保できないと判断したため中止した。	高松市立仏生山公園や仏生山商店街を会場に、大名行列のほか、野外劇場やよろず処、黒門市等さまざまな催しを検討しているが、参加者や来場者の安全性が確保できない場合は中止する。	継続	観光交流課
16	高松まちかど漫遊帖	本実行委員会において、ガイドブック「高松まちかど漫遊帖」を春と秋の2回計画し、4月頃～6月頃までの期間において春編を、10月頃～12月頃までの期間において秋編を毎年開催している。	8	決算額：2,079千円 予算額：1,965千円	参加者数	【開催回数/延べコース数/延べ参加者数】 平成25年度 2回/44コース/476人 平成26年度 2回/33コース/385人 平成27年度 2回/47コース/562人 平成28年度 2回/47コース/455人 平成29年度 2回/48コース/469人 平成30年度 2回/51コース/500人 令和元年度 2回/62コース/499人 令和2年度 2回/48コース/129人	開催回数：100.0% 延べコース数：74.4% 延べ参加者数：25.9%	春編と秋編の2回、インターネットやSNSと連動した、まち歩きパンフレットを作成する。 また実施の際には「3密」回避の徹底や動画配信サービス等の利用により、新型コロナウイルス感染症拡大防止に最大限留意する。 なお春編については、28コース中24コースが中止となった。	春編と秋編の2回、インターネットやSNSと連動した、まち歩きパンフレットを作成する。 また実施の際には「3密」回避の徹底や動画配信サービス等の利用により、新型コロナウイルス感染症拡大防止に最大限留意する。	継続	観光交流課
17	SETOUCHI SUMMER NIGHT FESTIVAL	「アート県・香川」としてのイメージを定着させるとともに、交流人口の拡大を目的として、瀬戸内海を臨むウォーターフロントの特性を生かし、アート色豊かなイベントを開催する	8	決算額：6,111千円 予算額：5,250千円	来場者数	平成26年度 35,000人 平成27年度 52,000人 平成28年度 20,300人 平成29年度 31,250人 平成30年度 32,111人 令和元年度 38,340人 令和2年度 中止	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、開催中止とする。	香川県と共同で、瀬戸内海を臨むウォーターフロントで「パフォーマンス・音楽・食」による幻想的な空間を作り出す夜型イベントの実施を検討しているが、GW前後において県と協議し、参加者や来場者の安全性が確保できない場合は中止する。	継続	観光交流課

「第2次高松市創造都市推進ビジョン」策定後の取組状況について

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R1決算額及びR2予算額	実施実績(指標)	実施実績(数値)	実施実績上昇率(前年度/前々年度)	令和2年度事業内容	令和3年度事業見込	今後の方向性(拡充、継続、改善継続、縮小、統合、完了、休止、廃止)	主管課(関係部署)
18	MICE振興事業	本市が有するMICE開催に必要な機能の更なる充実や有機的な連携を図ることにより、高松ならではのMICE誘致を展開するため、MICE振興戦略に基づく施策を推進する。	8,17	決算額：31,869千円 予算額：39,040千円	コンベンション開催件数	平成25年度 203件 平成26年度 226件 平成27年度 217件 平成28年度 214件 平成29年度 226件 平成30年度 217件 令和元年度 171件	78.8%	引き続き、(公財)高松観光コンベンション・ビューローや香川県MICE誘致推進協議会と連携しながら、大規模MICEや政府系国際会議の誘致及び開催支援、関係機関との連携による受入態勢の強化に取り組む。	(公財)高松観光コンベンション・ビューローと連携しながら、MICE参加者向けプロモーション動画を製作して、参加者数の増加を図る。併せて、県とも連携しながら、大規模MICEや政府系国際会議の誘致及び開催支援、関係機関との連携による受入態勢の強化に取り組む。	継続	観光交流課
19	「気持ち高まる、高松。」シティプロモーション事業	高松を知らない層に対して、効果的な情報発信を行うことにより、本市に対するポジティブなイメージの浸透を図り、観光・MICE誘致のみならず、移住・定住促進、シビックプライド醸成などにつなげる。	8,17	決算額：4,303千円 予算額：5,630千円	サイト訪問件数	平成30年度 63,459件 令和元年度 159,258件	251.0%	「エクスペリエンス高松」において本市ならではの魅力的な体験型コンテンツの記事充実を図るとともに、2年度以降大規模なサイト改修を行い、旅ナカでのお役立ち情報の充実も図っていく。	引き続き、「エクスペリエンス高松」において本市ならではの魅力的な体験型コンテンツやグルメ等の情報発信を強化するとともに、旅ナカでのお役立ち情報を集約させるサイト大規模改修を完了させ、本市滞在中の満足度向上を図る。	継続	観光交流課
20	せとるべ(高松港玉藻防波堤灯台)夜間特別公開	“灯台のまち高松”事業の一つとして、若年層への認知度向上及びメディアの拡散効果を狙って、日中は毎年開催されているものの、夜間は開催されてこなかったせとるべの特別公開を行う。	8,17	決算額：0円 予算額：0円	高松市創造都市推進局Facebookにおける「灯台」関連発信記事のリーチ数	平成30年度 18,358件 令和元年度 9,996件	54.5%	新型コロナウイルス感染症の収束状況を考慮しながら、高松海上保安部と連携の上で、引き続き、せとるべの夜間特別公開を行うとともに、3灯台のスタンプラリーを実施する。	引き続き、高松海上保安部と連携しながら、せとるべの夜間特別公開を行う。	継続	観光交流課
21	瀬戸内国際芸術祭2019	文化芸術の振興と、瀬戸内の活性化や地域振興を、世界に向けての情報発信に寄与するため、現代アートの作家や建築家と協働する国際的な芸術祭と位置付けて、香川県・関係市町及び福武財団などとともに開催する瀬戸内国際芸術祭を推進していきます。 今後も市独自の関連事業を積極的に実施し、内陸部への観光客の誘客も図り、本市の活性化につなげていきます。	4,8,17	決算：75,315千円 予算：5,950千円	トータル来場者/外国人の割合(アンケート調査)/経済波及効果	2010年 938,246人/ 1.1%/ -億円 2013年 1,070,368人/ 2.6%/132億円 2016年 1,040,050人/13.4%/139億円 2019年 1,178,484人/23.6%/180億円	トータル来場者：113.3% 外国人の割合(アンケート調査)：176.1% 経済波及効果：129.4%	ART SETOUCHIとして、高松港周辺で屋外作品の継続公開やイベントを実施する。また、瀬戸内国際芸術祭2022に向けて、県や県内市町、市内各島等と連携・調整しながら、円滑な事業実施体制を構築していく。	令和3年度においては、引き続き、ART SETOUCHIとして一部作品の公開を継続するとともに、令和4年度に予定している瀬戸内国際芸術祭2022の開催準備を進めていく。	継続	文化芸術振興課
22	高松国際ピアノコンクール	音楽芸術の振興と国際的な文化交流を図ることにより、地域に根ざした文化芸術の創造と振興に寄与することを目的として、民間主導により行われる国際的なピアノコンクールの開催を支援します。 第3回高松国際ピアノコンクール(平成25年度開催)の翌年度からは、同コンクール組織委員会の実施事業以外に、本市と組織委員会が連携した取組として、学校訪問リサイタル※、コンクール審査員による演奏会や公開レッスンを実施し、今後は、平成30年の第4回開催を契機に本市の音楽文化の交流の場を広げるとともに、その発展を目指していきます。	4,8,17	決算：2,540千円 予算：2,800千円	大会参加人数/観客数	平成18年 306人/11,250人 平成22年 243人/7,550人 平成26年 239人/7,180人 平成30年 332人/10,230人	—	推進事業として、R1年度同様のメニューを実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により一事業のみ実施。 ●実施した事業 子どもたちとファイナリストの演奏会 ●中止となった事業 審査員、優勝者の演奏会 審査員、優勝者によるマスタークラス(公開レッスン) 学校訪問リサイタル	令和4年3月に、第5回高松国際ピアノコンクールを開催する。また、例年よりも縮小されるが、併せて、推進事業も実施する。	継続	文化芸術振興課
23	かがわ山なみ芸術祭	芸術を軸とした地域の活性化を図るため、県内在住のアーティストと国内外の優れたアーティストが連携し、現代美術作品の展示やワークショップを実施します。地域の歴史文化や風土を作品制作における重要なテーマとし、そこでしか見ることができないアートイベントを目指します。	4,17	決算：1,900千円 予算：0千円	来場者数	2016 ■来場者数(高松市エリア) 瓦町FLAG(プレイベント) 700人 塩江町 2,826人 2019 ■会期(塩江エリア) 9月27日(金)～10月20日(日) ■会場(塩江エリア) 塩江美術館・モモの広場、大滝山県民いこいの森、大屋敷地区、西照神社、ホテルセカンドステージ ■来場者数(塩江エリア) 962人 ※塩江美術館のみ	—	実施予定なし(瀬戸芸開催年度のみ)	実施予定なし(瀬戸芸開催年度のみ)	継続	文化芸術振興課

「第2次高松市創造都市推進ビジョン」策定後の取組状況について

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R1決算額及びR2予算額	実施実績 (指標)	実施実績 (数値)	実施実績上昇率 (前年度/前々年度)	令和2年度事業内容	令和3年度事業見込	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、統合、完了、休止、廃止)	主管課 (関係部署)
24	まちなかパフォーマンス事業 ・TAKAMATSU MUSIC BLUE FES ・サンポートオータムジャム ・高松フラストリート ・街クラシックin高松 ・たかまつ大道芸フェスタ	市民の文化芸術への関心を高めるとともに、まちかどに芸術のあふれる「アート・シティ高松」の実現と中心市街地の賑わいを創出するため、サンポート高松や商店街等で、アートに関連した各種イベントを実施します。 今後は、音楽やパフォーマンス等を通して、市民や観光客が、中心市街地において文化芸術を気軽に楽しめる空間づくりを推進します。	4,17	決算：3,500千円 予算：3,500千円	【TAKAMATSU MUSIC BLUE FES】観客数 (平成25年、26年は街角に音楽をフェスティバル)	平成25年度 6,850人 平成26年度 7,610人 平成27年度 20,200人 平成28年度 26,370人 平成29年度 26,370人 平成30年度 26,900人 令和元年度 33,000人 令和2年度 204人 ※入場制限	0.6%	引き続き、「アート・シティ高松」の実現と中心市街地の賑わいを創出するため、イベントを継続実施する。 当初、5月4日・5日に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により10月に延期し、香川県在住者のみの事前申込制とするなど、新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、サンポートオータムジャムと合同で開催。	引き続き、「アート・シティ高松」の実現と中心市街地の賑わいを創出するため、継続実施する。	継続	文化芸術振興課
				決算：1,000千円 予算：1,250千円	【サンポートオータムジャム】観客数 (平成25年度、26年度はワールドダンスフェスティバル)	平成25年度 3,100人 平成26年度 650人 平成27年度 3,800人 平成28年度 1,500人 平成29年度 1,600人 平成30年度 1,600人 令和元年度 1,700人 令和2年度 173人 ※入場制限	10.2%	引き続き、「アート・シティ高松」の実現と中心市街地の賑わいを創出するため、香川県在住者のみの事前申込制とするなど、新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、「TAKAMATSU MUSIC BLUE FES」と合同で開催。	引き続き、「アート・シティ高松」の実現と中心市街地の賑わいを創出するため、継続実施する。	継続	文化芸術振興課
				決算：500千円 予算：750千円	【高松フラストリート】観客数	平成25年度 6,800人 平成26年度 7,800人 平成27年度 8,600人 平成28年度 9,500人 平成29年度 10,500人 平成30年度 12,600人 令和元年度 14,200人	112.7%	引き続き、「アート・シティ高松」の実現と中心市街地の賑わいを創出するため、新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、継続実施する。	引き続き、「アート・シティ高松」の実現と中心市街地の賑わいを創出するため、継続実施する。	継続	文化芸術振興課
				決算：1,000千円 予算：500千円	【街クラシックin高松】観客数	平成25年度 6,470人 平成26年度 1,630人 平成27年度 3,300人 平成28年度 1,670人 平成29年度 1,020人 平成30年度 1,650人 令和元年度 2,400人 令和2年度 中止	—	引き続き、「アート・シティ高松」の実現と中心市街地の賑わいを創出するため、イベントを継続実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止した。	引き続き、「アート・シティ高松」の実現と中心市街地の賑わいを創出するため、継続実施する。	継続	文化芸術振興課
				決算：4,000千円 予算：4,000千円	【たかまつ大道芸フェスタ】観客数	平成25年度 27,600人 平成26年度 38,000人 平成27年度 46,600人 平成28年度 54,500人 平成29年度 62,250人 平成30年度 66,060人 令和元年度 73,470人 令和2年度 567人 ※入場制限	0.8%	引き続き、「アート・シティ高松」の実現と中心市街地の賑わいを創出するため、香川県在住者のみの事前申込制とするなど、新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、継続実施。	引き続き、「アート・シティ高松」の実現と中心市街地の賑わいを創出するため、継続実施する。	継続	文化芸術振興課

「第2次高松市創造都市推進ビジョン」策定後の取組状況について

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R1決算額及びR2予算額	実施実績(指標)	実施実績(数値)	実施実績上昇率(前年度/前々年度)	令和2年度事業内容	令和3年度事業見込	今後の方向性(拡充、継続、改善継続、縮小、統合、完了、休止、廃止)	主管課(関係部署)
25	アーティスト・イン・レジデンス事業	(高松アーティスト・イン・レジデンス) 高松市内の活用されていない資源(例えば、空き家、廃校、商店街の空き店舗等)を活用し、国内外から招へいたアーティストが一定期間滞在し、地域とのつながりの中で作品制作を行うことで、地域との協働が生まれ、地域に賑わいをもたらすとともに、アートの普及や若手アーティスト等の育成にもつなげます。	4,17	決算：0千円 予算：3,013千円	応募件数・実施事業数	平成27年度 応募17件、実施3件 平成28年度 応募40件、実施3件 平成29年度 応募15件、実施3件 平成30年度 応募27件、実施2件 令和元年度 実施なし	—	平成30年度に続き3事業程度を公募により実施している。公募に当たっては、新型コロナウイルス感染防止のため、国内のアーティストに限定した。	引き続き、3事業程度を公募により実施する。	継続	文化芸術振興課
		(大島アーティスト・イン・レジデンス) 県内外の小学生から中学生までの子どもたちが参加し、大島に宿泊するサマーキャンプを実施します。入所者との交流によりハンセン病の歴史を学び、歴史的遺産の伝承に資するとともに、大島の自然、瀬戸内国際芸術祭の作品鑑賞、アーティストによるワークショップ体験を通じ、大島の魅力を伝え、将来にわたる島の振興を図ります。	4,17	決算：2,000千円 予算：2,000千円	参加児童・生徒数	平成27年度 32人 平成28年度 22人 平成29年度 25人 平成30年度 21人 令和元年度 25人	119.0%	長期的な大島の振興につながる交流促進の取組みとして、引き続き実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、例年のサマーキャンプの実施は取りやめ、別の形態での実施を検討している。	長期的な大島の振興につながる交流促進の取組みとして、引き続き実施する。	継続	文化芸術振興課
26	高松市文化芸術ホール改修事業	高松市文化芸術ホールは平成30年度で開館から14年が経過し、音響・照明・舞台設備等、更新が必要となるとともに、ホールのつり天井は既存不適格建築物として改修等の対応が必要になっています。そのため、更新・改修に係る工法・範囲等の調査検討の上、効率的な更新改修計画に基づき実施設計し、休館期間を設けて全面的に更新・改修を行います。	4,17	決算：113,112千円 予算：101,640千円	設備更新・建物改修に係る進捗率	平成30年度 6% 令和元年度 20% 令和2年度 23%	103.0%	工事コストの最適化を念頭に置きながら、実施設計業務委託を実施する。	実施設計完了後、工事業者を選定し、令和3年度中に工事契約を締結する。	継続	文化芸術振興課
27	高松城跡等整備事業	城下町高松のシンボルとなる特徴的な城郭を後世まで守り伝えるため、史跡高松城跡保存整備基本計画に基づき、石垣や披雲閣など各施設の保存修理や桜御門の復元に努める。また、天守の復元に向けて資料調査を行う。	4	決算額：122,014千円 予算額：231,728千円	玉藻公園入園者数	平成25年度 178,776人 平成26年度 194,026人 平成27年度 218,264人 平成28年度 238,146人 平成29年度 228,385人 平成30年度 202,161人 令和元年度 229,439人	113.5%	史跡高松城跡保存活用計画の作成を継続する。桜御門復元整備工事を実施する。披雲閣蘇鉄の間の耐震補強工事を実施する。	史跡高松城跡保存活用計画の作成、桜御門復元整備工事、披雲閣蘇鉄の間の耐震補強工事、長檜繕修工事を継続する。	継続	文化財課
28	文化財保存活用推進事業	市内指定等文化財の適切な保存を行うとともに、市民に公開する良好な環境を提供する。	4	決算額：17,426千円 予算額：19,390千円				引き続き、市内指定等文化財の適切な保存を行うとともに、市民に公開する良好な環境を提供する。	引き続き、市内指定文化財の適切な保存を行うとともに、市民に公開する良好な環境を提供する。	継続	文化財課
29	障がい者スポーツ推進事業	障がい者スポーツの推進を図るため、本市スポーツ施設における環境整備や障がい者スポーツ大会の誘致等を通じて、障がい者スポーツ人口の増大と競技力の向上に取り組めます。	3,4,10,17	決算額：1,539千円 予算額：2,428千円				2021年のジャパンパラ陸上競技大会開催に向けての準備を行う。 また、市民の障がい者スポーツへの興味関心を高めていただくため、パラアスリートの周知広報事業や、スポーツ推進委員等と協力して各地域において体験等を実施する。	2021年ジャパンパラ陸上競技大会の開催に向けての準備を行う。 また、市民の障がい者スポーツへの興味関心を高めていただくため、市内パラアスリートの特集記事を「広報高松」に掲載するほか、引き続き、スポーツ推進委員等と協力して各地域においてパラスポーツ体験等を実施する。	継続	スポーツ振興課

「第2次高松市創造都市推進ビジョン」策定後の取組状況について

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R1決算額及びR2予算額	実施実績(指標)	実施実績(数値)	実施実績上昇率(前年度/前々年度)	令和2年度事業内容	令和3年度事業見込	今後の方向性(拡充、継続、改善継続、縮小、統合、完了、休止、廃止)	主管課(関係部署)
30	トリムの祭典	昭和54年度から、毎年体育の日に中央公園等において、誰もが気軽に挑戦・体験できる市民総参加型のスポーツ・レクリエーションイベントとして開催しています。公園内では、ニュースポーツ体験、健康チェックコーナー、ヨガや太極拳等のステージイベント、御当地キャラとの触れ合いなど、また、公園外では、ウォーキング、サイクリング、ちびっ子鬼ヶ島探検などを実施しています。	1,2,3,4,5,6,10,11,17	決算額：2,000千円 予算額：2,000千円	参加者数	平成25年度 5,000人 平成26年度 中止 平成27年度 6,000人 平成28年度 6,000人 平成29年度 6,000人 平成30年度 6,000人 令和元年度 6,000人 令和2年度 中止	—	10月11日に中央公園等において、誰もが気軽に挑戦・体験できる市民総参加型のスポーツ・レクリエーションイベントを開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となった。	10月10日に中央公園等において、誰もが気軽に挑戦・体験できる市民総参加型のスポーツ・レクリエーションイベントを開催予定。公園内では、ニュースポーツ体験、健康チェックコーナー、ヨガや太極拳等のステージイベントなど、また、公園外では、ウォーキング、サイクリング、ちびっ子鬼ヶ島探検などを実施する予定。	継続	スポーツ振興課
31	東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業(事前合宿誘致・実施)	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、事前合宿誘致等に努めるほか、オリンピック・パラリンピアンを招聘しスポーツイベントを実施するなど、機運醸成を図ります。	3,4,10,17	決算額：432千円 予算額：6,252千円				新型コロナウイルス感染症拡大を受け、台湾パラ陸上代表選手団の事前合宿は、延期となった。また、台湾オリ自転車代表選手団の事前合宿は選手団側が希望する練習場を確保できず、合意に至らなかった。	新型コロナウイルス感染症拡大を受け、1年延期となったが、令和3年7月上旬に台湾パラ陸上代表選手団の事前合宿を受け入れる予定で各関係団体と調整中。	継続	スポーツ振興課
32	東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業(聖火リレー事業)	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、事前合宿誘致等に努めるほか、オリンピック・パラリンピアンを招聘しスポーツイベントを実施するなど、機運醸成を図ります。	3,4,10,17	決算額：4,400千円 予算額：19,600千円				新型コロナウイルス感染症拡大を受け、4月19日の聖火リレー・ミニセレブレーション・セレブレーション、パラ聖火フェスティバルが延期となった。	新型コロナウイルス感染症対策を講じ、令和3年4月18日の聖火リレー、ミニセレブレーション、セレブレーション、8月にパラ聖火フェスティバルを実施予定。	継続	スポーツ振興課
33	高松市美術館サポートショップ事業	会期中の特別展チケットの半券、又は有効期間中の定期観覧券(年間パスポート)を提示すると、参加店舗で割引などの特典を受けることができる。また、各サポートショップに「高松市美術館サポートショップ利用者割引券」を設置し、サポートショップ利用のお客様がその割引券を美術館に持参すると特別展観覧料が割引になる相互割引制度を導入し、商店街周辺のにぎわいづくりにつなげていく。	4	決算額：159千円 予算額：195千円	【参加店舗数】	【参加店舗数】 平成24年度39店 平成25年度53店 平成26年度69店 平成27年度119店 平成28年度147店 平成29年度145店 平成30年度134店 平成31年度125店 令和2年度126店	100.8%	引き続き、参加していただいている店舗と協力し、美術館を含め商店街周辺のにぎわいづくりにつなげていく。事業の認知度をあげるため、観光案内所等へのサポートショップマップ配布を行い、展覧会受付で声かけ等を行う。新型コロナウイルス感染症の影響で、特別展「ニャー！」において臨時休館の期間が生じ、会期の延長で対処したものの、参加店舗に飲食店が多く休業された店舗もあったため、相互利用が難しくなっている。	連携先を個々の店舗から商店街組合へ移し、協力店舗数の拡大を図ることで、更なる美術館を含めた商店街周辺のにぎわいづくりにつなげていく。また、連携先の見直しに伴い、相互割引制度の内容についても見直す予定である。	継続	美術館美術課
34	市民活動センター運営事業	市民と行政が共に考え、共に活動する協働の場として設置している市民活動センターを管理運営し、センター事業を実施します。	11	決算額：21,150千円 予算額：20,941千円	【市民活動センター】総利用者数	平成25年度 3,180人 平成26年度 3,218人 平成27年度 15,429人 平成28年度 19,752人 平成29年度 23,977人 平成30年度 21,311人 令和元年度 23,043人	108.1%	中間支援組織としての機能を充実し、市民活動団体等への活動の更なる支援強化を図るとともに、市民活動団体等と地域との連携強化のためマッチングに積極的に取り組む。センター職員のスキルアップを行い、市民に気持ちよく利用してもらえるよう親しみやすい窓口づくりにも努め、相談事業の強化・充実を図る。	中間支援組織としての機能を充実し、市民活動団体等への活動の更なる支援強化を図るとともに、市民活動団体等と地域との連携強化のためマッチングに積極的に取り組む。センター職員のスキルアップを行い、市民に気持ちよく利用してもらえるよう親しみやすい窓口づくりにも努め、相談事業の強化・充実を図る。	継続	男女共同参画・協働推進課

「第2次高松市創造都市推進ビジョン」策定後の取組状況について

No.	主な取組事業名	主な取組事業概要	SDGs	R1決算額及びR2予算額	実施実績(指標)	実施実績(数値)	実施実績上昇率(前年度/前々年度)	令和2年度事業内容	令和3年度事業見込	今後の方向性(拡充、継続、改善継続、縮小、統合、完了、休止、廃止)	主管課(関係部署)
35	障がい者アートリンク事業	芸術活動を通じて障がい者の感性・想像力を育み、障がい者の社会参加の促進を図るため、希望する障害福祉サービス事業所等へ芸術家を派遣し、創造性の芽を持つ障がい者とアーティストが長期継続的に関わることで生まれる新しい概念をかたちにする創作活動を支援します。	3,4	決算額：12,410千円 予算額：12,435千円	派遣先事業所	平成26年度 6か所 平成27年度 8か所 平成28年度 9か所 平成29年度 10か所 平成30年度 12か所 令和元年度 13か所 令和2年度 14か所	107.7%	多様な分野のアーティストが参加することで、障がい者の芸術活動の幅を広げるとともに、多くの障がい者が参加できるように参加事業所の希望を酌み取りながら活動方法を工夫する。新型コロナウイルス感染症の影響により活動制限のかかる中、野外等活動の場の変更や利用者の分散化等、環境の工夫を行っていく。	コロナ禍における新しい芸術活動の方法を検討するとともに、報告展覧会等、活動の成果発表の方法を工夫し、地域社会との交流や障がい者理解の促進に取り組む。	継続	障がい福祉課
36	サンポート高松トライアスロン	サンポートエリアの海と本市中心市街地を会場に、日本全国・世界から幅広い選手たちが参加できる国内屈指の都市型トライアスロン大会「サンポート高松トライアスロン〜瀬戸内国際体育祭〜」を共催し、参加者及び市民の心と体の健康づくりを推進するとともに、本市及びサンポート高松のPR等、活力あるまちづくりの促進を図ります。 また、平成29年度からは、オリンピックの選考対象に位置づけられている国際大会「アジアカップ」を同時開催し、市民がトップレベルのスポーツを間近に観戦する機会を提供するとともに、スポーツを通じた国際交流にも取り組んでいます。	1,2,3,4,5,6,10,11,17	決算額：30,000千円 予算額：30,000千円	参加選手数/ ボランティアスタッフ数/ 観客数	平成25年度 458人/749人/4,500人 平成26年度 514人/676人/12,000人 平成27年度 479人/703人/13,500人 平成28年度 584人/640人/14,800人 平成29年度 687人/1,016人/38,500人 平成30年度 中止 令和元年度 666人/1,016人/44,200人 令和2年度 中止	—	7月4日(土)のNTT ASTC トライアスロンアジアカップ(2020/高松)、サンポート高松キッズトライアスロン大会は、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、中止となり、7月5日(日)のサンポート高松トライアスロン〜瀬戸内国際体育祭〜は、9月20日(日)の延期開催を予定していたが、そちらも同理由により中止となった。	新県立体育館建設に伴い、サンポートエリアにおける競技コース並びに会場レイアウトを一部変更し、エイジ(一般)競技大会を9月12日(日)に予定している。なお、NTT ASTC トライアスロンアジアカップは、開催を見送ることとしている。	縮小	スポーツ振興課
37	東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業(交流事業)	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、事前合宿誘致等に努めるほか、オリンピック・パラリンピアンを招聘しスポーツイベントを実施するなど、機運醸成を図ります。	3,4,10,17	決算額：1,651千円 予算額：2,900千円				各イベント時において、オリンピック、パラリンピアンとの交流事業を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、イベントが中止となり実施できなかった。また、東京オリンピック・パラリンピック競技大会のバブリックビューイングは延期となった。	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会後も事業連携を提携している企業からオリンピック、パラリンピアンを招聘し、引き続き、交流事業を実施し、スポーツ振興につなげていく。	縮小	スポーツ振興課
38	高松市・南昌市友好都市提携30周年記念事業	令和2年度に南昌市(中華人民共和国)との友好都市提携30周年を迎えることから、国際交流活動を更に活性化させ、市民の国際感覚の醸成を図るため、記念事業を実施する。	10	予算額：5,631千円	記念事業参加者数			新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、予定していた記念事業のうち、公式訪問団の派遣は令和3年度以降に延期、それ以外は全て中止となった。 事業中止に伴う代替措置として、これまでの交流の歴史を振り返り、今後の友好親善を発展させることを目的とした30周年記念動画を作成し、ホームページで公開した。	令和3年度以降、公式訪問団の相互訪問を検討	完了	観光交流課
39	中国・四国パラ陸上競技大会	平成29年4月の屋島レクザムフィールドのオープンに伴い、7月に同会場にて四国で初開催し、今後、令和元年、令和2年の2年連続で開催します。 また、大会前日にはパラリンピアンとの交流事業、義足体験授業を実施するほか、大会当日も障がい者スポーツ体験を実施し、障がい者スポーツの推進に努めます。	3,4,10,17	決算額：200千円 予算額：200千円	大会参加人数	平成29年度 112人 平成30年度 未開催 令和元年度 105人 令和2年度 中止	—	6月27日(土)の中国・四国パラ陸上競技大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となった。 また、6月26日に予定していた、市内小学校での交流事業や大会当日の関連イベントも中止となった。	令和3年～5年度における中国・四国パラ陸上競技大会の開催地は、既に他市で決定しているため、令和3年度に事業は実施しない。	完了	スポーツ振興課